



報道関係各位

2014年12月22日

火災弱者（高齢者等）への最適消火装置を茅ヶ崎市と共同開発
〔音声警報・フラッシュ警報装置付の住宅用自動消火装置開発〕

株式会社モリタホールディングス

当社の100%子会社であるモリタ宮田工業株式会社(本社:神奈川県茅ヶ崎市、代表取締役社長:土谷和博)は、本社のある茅ヶ崎市と協力して、高齢者等の火災弱者を火災から守るために最適な、茅ヶ崎市特別仕様の住宅用自動消火装置「スプリネックスミニ」を共同開発致しました。

平成25年版消防白書によると、国内の火災の実態は、年間約5万件の火災が発生し、年間約1,800名が亡くられております。火災による死者の6割以上が火災弱者である高齢者であり、さらにそのうち約4割は自力避難が困難なことが推察される80歳以上の方です。また、夜間での死者が昼間の2倍以上となっており、死亡原因の5割以上は逃げ遅れによるものです。このように火災弱者は、自力避難も困難であり、消火器等を設置していても消火活動が行えないことを考慮すると、自動で素早く消火する装置が必要となりますが、従来の消火装置は高価で、電気工事も伴うため既存建物への設置は困難でした。

モリタ宮田工業では、この問題を解決するために、電池式で電気工事が不要で、簡単に取り付けることができる住宅用自動消火装置「スプリネックスミニ」を開発いたしました。さらに茅ヶ崎市からより早く・わかりやすく火災を知らせることを迫り、茅ヶ崎市と共同で、高齢者等により最適な機能を検討し、茅ヶ崎市特別仕様のスプリネックスミニを開発致しました。

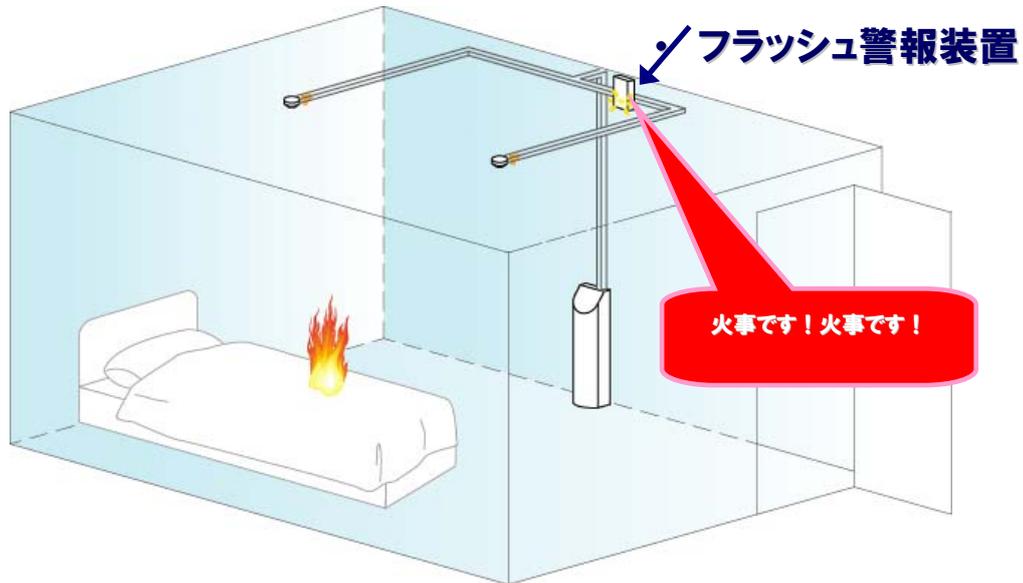
茅ヶ崎市特別仕様のスプリネックスミニは、一人暮らしの高齢者が火災をいち早く認識し避難できるように、火災の警報を通常のブザー音から音声による警報を発生し、さらに耳の遠い方にもわかるように感知器が作動した時点でフラッシュライトを点滅させる機能の警報ユニットを、スプリネックスミニに組み合わせシステム化しました。

茅ヶ崎市では、同市が取り組む「防災まちづくり応援ツール」のひとつとして、スプリネックスミニ「茅ヶ崎市特別仕様」を今年度予算化、同市内の高齢者居宅に対して最大で120台を試験的に貸与し平成28年度からの全市域導入にむけた検証を進めていきます。

茅ヶ崎市は防災対策強化実行計画として、モリタ宮田工業は「火災から人の命と財産を守る」防災メーカーの使命として、高齢者が安全に住める「安全・安心の防災街づくり」を目指し共同開発を推進しております。

音声警報・フラッシュ警報装置別置型

・ 音声警報



【スプリネックスミニ 茅ヶ崎市特別仕様】

- 適応火災 : 一般火災
- 防護面積 : 8 m² (約 4.5 畳相当)
- 放射時間 : 約 26.5 秒
- 薬剤 : 第 3 種浸潤剤等入り水 (9 リットル)
- 感知器 : 定温式・差動式
- サイズ : 204mm×825mm×201mm
- 茅ヶ崎市特別仕様 : ①音声警報機能「火事です！火事です！」
②フラッシュ警報機能



スプリネックスミニ本体 (標準品)

本件に関するお問い合わせ先

モリタ宮田工業株式会社 生産統括本部 技術部 担当：津田 TEL(0467)85-1213